

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【489】

2. 日時：令和5年5月31日 13時35分～15時15分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江崎企画調査官*、千明主任安全審査官、
中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、府川安全審査官、
谷口技術参与、三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋技術研究調査官、小林技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源建築） 他10名

電源事業本部 原子力建築グループ マネージャー 他11名*

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力建築室 担当*

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	それでは島根原子力発電所 2 号機施設購入のヒアリングを始めます。
0:00:04	本日午後の説明項目は、耐震計算書のディーゼル燃料等タンク室と佐治経産者の清潔建物とあと午前中の積み残しで大金計算書の下、耐震、仮設大臣交代の三つとなります。
0:00:19	それではヒアリングの進め方と治療の確認について、説明をお願いします。
0:00:24	はい、中国電力のオチアイですそれではAとし、資料の確認と番号取りをまずさせていただきます
0:00:31	あと進め方についてですけども、まず前半と後半に分けさせていただいて、前半の方ではD耐震計算書のディーゼル燃料貯蔵貯蔵タンク室等々、
0:00:41	制御建物のコメント回答これを通してご説明させていただきたいと思えます。で、
0:00:48	人の入れ替えをさせていただいて、残り、耐震アカセつ耐震構台の方を鋼板でやらさせていただきます。まず前半の方の資料について番号取りをさせていただきます。
0:01:01	まず資料番号が、N-S2 の他の 362 回 01 これを資料番号一番とさせていただきます。
0:01:09	それから、N-S2-添 2-002 の 39 回 0 に、これを資料番号 2 番とさせていただきます。
0:01:16	それから、N-S新野他の 357 回 025 両資料番号 3 番土肥させていただきます。
0:01:24	次N-S2-添 2-014-41 回 0 にこれを資料番号 4 番とさせていただきます。
0:01:31	それからN-S2 の方の 025-26 回 0 にこれを資料番号 5 番とさせていただきます。
0:01:37	それから資料N-Sに資料番号NSDのアノ 358 回 0 にこれを資料番号 6 番とさせていただきます。
0:01:46	次いでN-S2-添 2-002-15、これを資料番号 7 番とさせていただきます。
0:01:52	それからN-S2 の方の 025-12 回 03、これを資料番号 8 番とさせていただきます。ここまでがディーゼル燃料IIタンク室に関わるものです。
0:02:02	それから次制御建物に関わるものが 2 冊ございまして、N-S2 の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:08	209 回 02、これを資料番号 9 番とさせていただきます。それから最後ですけども、N-S2-添 2-002405 回 02。
0:02:18	これを資料番号 10 番とさせていただきます。よろしいでしょうか。
0:02:23	はい。資料の確認できました。
0:02:36	中部電力の吉本です。それでは資料番号 5 番でご説明させていただきます。
0:02:47	資料番号 5 番の補足補足説明資料の通し番号の 75 ページをお願いします。
0:03:01	前回までのご説明では、せん断破壊に対する評価結果で一部、追加検討がございましたのでそれについて埋めてきております。
0:03:11	この補足説明資料だと屋外配管ダクトの排気塔とディーゼルのタンク室がございしますが、同じような内容ですのでダクトの方で代表してご説明します。
0:03:22	黄色で一番下に追加しておりますけれども、全部材で照査値が 1.0 を下回ることを確認しております。具体的な中身については次ページ以降の表で取りまとめております。
0:03:36	通しの 79 ページをお願いします。
0:03:45	1 例なんですけれども、この表の中に、2 段書きで記載してあるものが、上段でせん断耐力式の結果がNGIになったものに対して、
0:03:55	ハダの方で、先見被害即を実施しております。結果的に、線形被害策ですべてオッケーになりましたので、材料非線形に至った部材はございませんでした。
0:04:06	で、先見被害則の具体的な内容については、参考資料 2 の方に記載しておりますが、内容については割愛させていただきます。
0:04:15	続きまして 81 ページをお願いします。
0:04:23	81 ページでは基礎コンクリートに対する評価結果を記載しておりましてこれはダクトの下に、一部、基礎のコンクリートがございしますので、それに対する、
0:04:33	評価を追記しております。すべての評価項目でOKとなっておりますので、こちらについても、
0:04:41	特に追加の対応事項はございません。この資料についてのご説明は以上です。説明者変わります。
0:04:57	中国電力の千原です。続いて排気塔の基礎の耐震性についてご説明いたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:03	資料はナンバー6と8を提出しておりますけれども、資料6の適正化リストの内容については、資料8を使用して説明させていただきまして、軽微な修正については省略させていただきます。
0:05:15	それでは資料8の通し2ページをお願いします。
0:05:20	あと補足説明資料の赤枠分の別紙7及び別紙8について説明をします。3ページをお願いします。
0:05:29	別紙7については前回ヒアリングでツジとなっていました箇所について説明をさせていただきます。9ページをお願いします。
0:05:38	前回のヒアリングでは表の3-1を空欄でお示しておりましたけれども、今回、木曾、木曾上野丹桶の地震時反力を記入しております。
0:05:47	12ページをお願いします。
0:05:51	先ほどの丹桶の地震時反力の入力位置をモデル図に赤丸で追記しております。
0:05:58	16ページをお願いします。
0:06:02	表4-1に、排気塔の基礎のうち、鉄塔基礎、それから新規ソウノ評価結果を記載しております。
0:06:09	軸力及び曲げモーメントに対する必要鉄筋量、それから人外せん断力がかくかく許容値を超えないことを確認しております。
0:06:16	22ページをお願いします。
0:06:21	基礎版につきましても、表の4-2に紙で示しています通り軸力、それから曲げモーメントによる鉄筋及びコンクリートのひずみ並びに面外せん断力が架橋許容値を超えないことを確認しております。
0:06:35	続いて25ページをお願いします。
0:06:40	前回までのヒアリングで排気塔の基礎上の上位クラス設備、それから間接支持構造物を整理して示すことというコメントいただきましたので、別紙8にて整理をしております。
0:06:51	27ページをお願いします。
0:06:57	と整理した内容としましては、2ポツに記載しています通り、排気塔の基礎上及び周辺における各建物構築物の位置関係及び境界部の構造についてを、
0:07:08	図2-1に示しております。
0:07:10	それから、排気塔の基礎及び周辺構造物に設置されている主要設備等の配置及び支持方法については、図2-2と3に示しております。
0:07:20	排気塔の基礎への間接支持構造物及び波及的影響評価対象構造物を整理した結果を図2-4に示しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:29	以上の整理しました内容を踏まえまして効果、今回工認におけるディーゼル燃料貯蔵タンク須藤の耐震評価における各部位の要求機能、それから評価内容を、
0:07:39	33 ページ以降の表 3-1 の通り整理しております、
0:07:43	排気塔の基礎部における間接支持構造物及び波及的影響評価対象構造物の耐震耐震計算に関する添付書類及び補足説明資料の構成を 36 ページ。
0:07:55	の図 3-1 に示しております。
0:07:58	なお 3 表 3-1 について、34 ページをお願いします。
0:08:05	屋外配管ダクト括弧タービン建物から放水槽と、屋外配管ダクト括弧タービン建物から排気塔
0:08:13	の立体交差部についての扱いが少しわずか、わかりづらいところがありましたので、注記の後に補足して説明を記載しております。
0:08:22	それに対応する表の中の※の 5 が消えてしまっていますので、適正化させていただきます。
0:08:28	表の中の⑦のaのディーゼル燃料移送配管。
0:08:32	の間接支持構造物として屋外配管ダクト括弧タービン建物から放水槽を記載しておりますけれども、こちらの右肩に※の 5 を追記させていただきます。
0:08:43	ディーゼル燃料貯蔵タンク須藤の説明は以上になります。説明者交代します。
0:08:54	中国電力の佐々木です。それでは資料⑨番と⑩番を使いまして、制御室建物の地震応答計算書について説明をさせていただきます。まず資料⑨番回答整理表の 2 ページ目をお願いいたします。
0:09:08	前回までのヒアリングにおきまして、後日回答としておりました、ナンバー 3 のコメントに対する回答をご説明させていただきます。
0:09:16	コメント内容は、添付書類に、材料物性の不確かさを考慮した地震応答解析結果を示して説明することとなっております。
0:09:24	回答としましては資料⑩番、地震応答計算書の 97 ページ目をお願いいたします。
0:09:35	4 ポツ 2 ポツ 1、材料物性の不確かさを考慮したケースの地震応答解析結果という章を新たに追加しまして、以降のページに、不確かさを考慮した地震応答解析結果を記載してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:48	なお他の建物の地震応答計算書につきましても、同じように材料物性の不確かさを考慮したケースの地震応答解析結果を追加してごさいます。
0:09:57	すいません資料⑨番に戻っていただきまして、当資料⑨番の3ページ目に、
0:10:04	記載適正化の内容を記載してございますが、
0:10:08	いずれの適正化の内容につきましても他の当初ので反映してる適正化内容を本庁にも反映したのとなっておりまして、説明のほうは割愛させていただきます。
0:10:19	制御室建物の地震応答計算書に関する説明は以上となります。
0:10:27	はい。規制庁チギラです。それでは、今説明がありました、ディーゼル燃料貯蔵タンク室と制御室建物、
0:10:35	について確認する点ある方、お願いします。
0:10:44	すみません、規制庁仲村ですけども、もう私から、記載の点で1点だけです、多分修正漏れだけだと思んですけど、前回のヒアリングの時ですかね、排気塔の基礎、
0:10:58	という言葉に、言葉ですね、修正されたと思んですけども、例えば主、今回の資料でいうと、
0:11:07	②の資料ですかね。
0:11:11	②の資料の、
0:11:15	6ページ。
0:11:19	図の中で、まだ農家残っ。
0:11:22	書かれてない排気塔基礎になってるままっていうのが、
0:11:26	この資料の中いろんなところなってたんで、ちょっとその点だけですね、修正の方、よろしくお願いします。資料多分、
0:11:37	今2で言いましたけど、4とか5とか何か他のところも結構図の中、まだ直ってなかったと思っんで、お願いします。
0:11:46	とりあえず、私からは以上です。
0:11:49	中国電力の秦です。大変失礼いたしました。ちょっともう一度資料全体を見直しまして、適正化をしたいと思います以上です。
0:12:03	規制庁の服部です。私から念のための確認を2点ほどさせていただきたいと思っます。
0:12:10	まず資料番号⑤番の10ページをお願いします。
0:12:18	この図の2-5のところ2、概略配筋図が記載されていますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:23	このダクトとか、タンク室というのは、基本的にせん断補強金は入っていないということよろしいでしょうか。
0:12:37	はい。中国電力の吉本です。今回ご説明した構造物に洗濯機は入ってございません。
0:12:44	規制庁のハツリですはいわかりました。
0:12:47	89 ページお願いします。
0:12:55	この図の 3-5 にAとB断面、
0:12:59	がありますけれども、このB断面の両側の壁は、
0:13:04	長辺方向の壁は、
0:13:07	短辺方向の壁と同じ配筋になってるといふふうに理解してよろしいでしょうか。
0:13:17	中国電力の石本所長お待ちください。
0:14:14	中国電力のハタですお待たせいたしました。短辺方向の壁と長辺方向の壁はちょっと配筋が異なっております。以上です。
0:14:25	規制庁の服部です。そうすると今回短辺方向の評価しかやってないんですけれども、
0:14:32	向こうの配筋って、
0:14:34	どうなってますか、保守的になってますからタテ方向の評価で、
0:14:53	中国電力の秦です。一応ですね長辺方向の壁と短辺方向の壁の発見は違いますけども長辺方向の壁につきましては、面外から梅動画横にありましてメガからの動圧を受ける壁として、
0:15:09	参考資料 1 の方で、前回のヒアリングでご説明しております。
0:15:13	以上です。
0:15:15	規制庁の服部ですそういうことだったんですね。それなら結構ですはい。わかりました以上です。
0:15:31	規制庁大橋です。
0:15:33	⑤番目の資料なんですけど、
0:15:37	5 ページ目。
0:15:39	これ
0:15:41	表 2-1 に適用する規格基準類というのがありまして、
0:15:46	一番下の枠が、
0:15:49	約 46011987 を、
0:15:53	FEMの 2 次元
0:15:55	F家F2 元FEMの、
0:15:58	時刻歴非線形解析に適用するっていうような、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:02	表現になってるんですけど。
0:16:05	実際
0:16:06	ストレートに、
0:16:09	FEMの非線形解析を使ってるとは思えないんで、
0:16:13	何か限定的な項目だけこっから徴収しているんじゃないかなという。
0:16:19	いとかなと思うんですけどこれはどうでしょうか。
0:16:27	はい。中国電力の吉本です。今言われたように、条約だけに基づいて地震応答解析をやってるわけではないんですけども、
0:16:35	例えばですね資料⑤の、
0:16:42	21 ページですかね、通しの 21 ページになるんですけど、
0:16:49	ここの地震応答解析のパートになってまして例えばこの評価対象構造物に対する、解析モデルの範囲だとか、その辺、引用してますので、先ほどの冒頭のところに記載させていただいてます。以上です。
0:17:02	規制庁大橋です。
0:17:04	そういう限定的だなんていうのは想像つくんですけど、さすがにこの 5 ページだけ見ると、
0:17:09	弱の 1987 年度版で、
0:17:12	FMの時刻歴非線形について、
0:17:16	ちゃんと説明してあるというようなとらえ方になっちゃうので、
0:17:22	例えば上の行なんかは、コンクリートの材料諸元を使ってますとか、
0:17:28	休暇中の組み合わせについて使ってますって書いてあるんで、そういう、
0:17:32	モデル化の範囲だとか、そういうのに使ってるぐらいに、
0:17:36	ちょっと変えてもらった方が、
0:17:38	いいんじゃないかなと思います。
0:17:42	はい。中国電力の吉本です。ご指摘の通り、ここだけ少し具体性がないというかなり大ざっぱな記載になってますので、他の資料もこういうふうな記載になってますので、全体として、
0:17:53	今言われたようにもう少し精緻に書こうと思います。以上です。規制庁大橋です。お願いします。
0:17:59	次に同じ資料の 30 ページ。
0:18:03	30 ページに、
0:18:05	ジョイント要素のは一井が書いてあって、下の方が拡大図なんですけど、
0:18:12	この

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:13	構造物名ボード指導は、
0:18:17	水色の線で、構造物無菌コンクリートは、
0:18:20	黄色の線。
0:18:22	の示してるんだらうなと思うんですけど。
0:18:26	ちょっとわかりにくいんで、あんまりメッシュの上にこういう文字を書くというよりは、ちゃんと凡例のほうに、
0:18:34	整理してですね、もうちょっと、その方がもうちょっとね、わかりやすいんじゃないかなと思います。これはナカの機会の時に、ちょっと体裁を直してもらえば、
0:18:46	いいなと思うんですけど。
0:18:48	あとここでちょっと教えていただきたいのは、
0:18:51	その拡大図の、
0:18:54	ダクトの一番右端の側壁の下で、
0:18:58	コンクリートの間に、
0:19:02	なんか紫っぽい。
0:19:04	局の絵があって、ここにジョイント、
0:19:07	要素が、
0:19:08	入ってるっていうような、
0:19:10	モデルじゃないかなと思うんですけど。
0:19:13	これ
0:19:14	バク等の下の、
0:19:17	気木曾のところのコンクリートと、あと側面の梅干同士の
0:19:23	コンクリートの、
0:19:25	継ぎ目にジョイント要素を入れているというような、
0:19:30	ことだろうと思うんですけど。
0:19:34	ここの、
0:19:36	ジョイント要素っていうのは、
0:19:43	結果は何かわかります場所。
0:19:46	そっからこれこれこれ。
0:19:49	これ押す方はもちろん
0:19:53	圧縮わあつつありますけど、これ引張側コンクリートとコンクリートの付着を考慮する、するとか、そういうような特性なんていうんすかこれ全く
0:20:05	引張がさ、発生すると、この前のページのように、
0:20:08	交付
0:20:09	フリーで、剥離されちゃうっていうそういう理解でいいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:15	はい。中国電力の吉本です。今、ご指摘のあった箇所のジョイントにつきましては、
0:20:22	えっとですね。
0:20:23	この
0:20:25	排気塔の基礎の下にあるコンクリートというのが排気塔の基礎建設時の、MMRになってまして、
0:20:33	今おっしゃられたジョイントよりも、南側になるんですけど、右側のところのコンクリートは、
0:20:41	新規制以降の安全対策工事でウタ、コンクリートになってますんで、ウタ時期が違うので、そこは縁が切れてるということでジョイントは入れております。
0:20:53	で、ジョイントの動きについてはさっきおっしゃられたように、引っ張りが作用すると、切れるような、
0:20:58	形になってます。以上です。
0:21:02	規制庁オオハシアノ施行の際に縁が切れるように相田新居なんか、
0:21:07	挟んでるというそういう理解でいいですか。
0:21:22	はい。中国電力ヨシツグでございます。あとこちらにつきましては、
0:21:25	基本的には今言いましたように施工時期が違うということで、本来、コンクリート同士の付着力も見れるんですけどここはもう見ずに、ジョイント要素を入れて、設定するという設計の方針としてそういう言い方をさせていただきます。以上です。
0:21:41	規制庁は施設了解しました。
0:21:44	同じ資料の、
0:21:45	41 ページ。
0:21:48	41 ページが、両括弧 4 の間操作による荷重、
0:21:53	これは
0:21:55	燃料タンクメタルの燃料タンクの周りは砂で埋め戻すっていうそういうイメージだと思うんですけど、
0:22:04	ここの、
0:22:06	上から 4 行目のところに、
0:22:08	密度が 8.8kN%スクエア。
0:22:11	メートルで、結構ちっちゃいなって感じがするんですけど、これ具体的にどんなものを使ってるんでしょうか。
0:22:21	はい。中国電力の吉本です。ちょっと製品名とは言えないと思うんですけど、普通のシライは、密度の軽い乾燥座を使ってます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:32	規制庁はずです。
0:22:34	これひょっとして水に浮いちゃうぐらいの、
0:22:38	中の性質っていうイメージですかね。
0:22:45	はい。中国電力の石本です。水野基準大社浮くような素材かなと思います。
0:22:51	規制庁大橋です。了解しました。
0:22:54	次に同じ資料の 93 ページのところなんですけど、
0:23:01	先ほど乾燥サーバー、さっきのページでは、
0:23:06	側壁に作用させるようなことを書いてありまして、
0:23:13	93 ページの方は、
0:23:17	これ
0:23:19	各党の、
0:23:21	タンクの重量については排気塔の基礎のみが負担しており、
0:23:25	排気塔の基礎上の構造物の評価に与える影響が軽微であるため考慮しないという考えなんですけど、
0:23:33	これがさっきの感想さを、
0:23:36	周りを埋めると。
0:23:38	その間操作を伝わって、側壁とかに、
0:23:42	地震時の慣性力とか、伝わるんじゃないかなと思うんですが、
0:23:48	さっきみたいな、
0:23:49	鍛冶かなり軽い砂だったら、そこまで伝わらないっていうそういう考えもあるかなと思うんですがこれは、
0:23:56	どうなんでしょうか。
0:24:00	中国電力の吉本です。実際モデル化上はタンクはモデル化してないのでそのような現象は表現できてないんですけど、一応考え方としては、十分タンクは剛なもので変形量は小さいだろうという仮定で、
0:24:12	この乾燥砂も十分空隙が、
0:24:15	あるものなので、多少タンクが変形しようとも側壁に与える影響は軽微かなというふうに考えてます。以上です。
0:24:23	規制庁大橋です。
0:24:25	丹空。
0:24:28	そのものの重量は採用しないという考えもあるかと思うんですけど、
0:24:32	砂に関しては、さっきのページのように、側壁にそれなりの
0:24:39	衛生指導圧なり地震時、
0:24:41	増分なりがあるっていう考えでよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:48	はい。中国電力の吉元です。
0:24:50	タンクは実際自立してまして、埋められた砂は、地震において自由に動きますのでその分荷重としては側壁にかかるかなと思ってます。
0:24:59	規制庁大橋です。了解しました。以上です。
0:25:20	はい。
0:25:21	制御室建物を、
0:25:30	一応
0:25:31	前回コメントさせていただいて、材料どう。
0:25:39	制御室建物については追加していただくということで、全部入れていただいておりますので、これで結構でございます。
0:25:51	中国電力の秦です。承知いたしました。以上です。
0:25:55	はい。
0:26:00	規制庁の三浦です。ちょっと確認だけ、資料5の、
0:26:05	79ページ。
0:26:09	79ページでせん断に対する調査やっていますよね。
0:26:14	意外と底盤が大きいなっていうイメージを持ったんですよ。
0:26:20	先ほどちょっと出てましたけど、これ底盤と。
0:26:25	あと、基礎コンクリートの間にはジョイント要素を入れてる。
0:26:30	ですよねまずそれそうですね。
0:26:34	この底盤が大きくなってやっぱりそのジョイント要素によって、
0:26:39	剥離が生じてるからっていう理解。
0:26:44	ですかね。
0:26:47	はい。中国電力の吉本です。ここに、
0:26:50	このたくさんテーマのところにおつきい断面力出るのはちょっと私も想定外だったんですが、一応、現象としてはですね、資料5の、
0:26:58	93ページ。
0:27:01	お願いします。
0:27:06	93ページに、今回、その上には載ってないんですが保守的に排気塔モニターとの荷重を、マスで載っていますという説明をここでしてるんですけども、
0:27:18	この2年のタンクの左肩のところのバスがですね鉛直下向きの加振を受けたときに、
0:27:25	どこのタンク室の側壁にかなり軸力が作用して、それがクロスしてるところの底盤にせん断として効いてくるというところで、一応断面力としては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:36	同じ資料の 115 ページ。
0:27:39	ありますが、
0:27:41	115 ページの一番下にあるような形で、その角のところはかなりせん断が立つような、そんなモードになってくると、想定してます以上です。
0:27:49	規制庁の三浦ですわかりました。今の説明非常にわかりやすいですね。基本的にはその排気塔の引退するの資料っていうのが、
0:27:58	このきわの部分。
0:28:01	右側の部分 2 の先端に、
0:28:04	順当する要素と絡めて、大きな影響をおよぼしていると。
0:28:08	非常にローカルなせん断力が入ってるってことですか。
0:28:11	わかりました。ちょっとぱっと表を見ただけでね。
0:28:14	ちょっと底盤のせん断力が大きいなという印象を持ったんで、ちょっと確認しました。その答えで結構です。はい。
0:28:23	はい。イセちゃいけないですが他の。
0:28:27	すいません。ちょっと私から。
0:28:30	江藤。説明なかったんですけどあの資料の 3 番で、
0:28:35	3 番の、
0:28:37	2 ページ。
0:28:39	適正化。
0:28:41	の内容のですね 20 番ですか。
0:28:45	ここで、今回ここに書いてあるですね適正久野医療、
0:28:49	前回はちょっと調査位置がですねちょっとそれは違うところを選んだんだけど今回、
0:28:55	それを再整理しましたっていうことなんですけどちょっとここについて具体的に説明していただいてよろしいですか。
0:29:02	中国電力の吉本です。今の件についてはちょっと説明が足りなくて失礼しました。
0:29:10	資料の 5 番の、ちょっとページを探してますんで少々お待ちください。
0:29:25	戻しまして 105 ページをお願いします。
0:29:35	105 ページの下の方にですね、
0:29:40	図 3-15 評価位置図というものがあるんですけども、ここで今着色してるのが、今回、タンク室として A と評価している部材になってますんで、
0:29:51	前回は、タンク室 02 の方の左本、左の方の側壁、ダクトと、
0:29:58	一部一体化してる場所があるパーツなんですけど、ここについて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:04	一番右側と同じように全面を評価対象としていったのが、前回の資料でした。で、今回その先遣被害即答で詳細に中身を、
0:30:14	検討していく中で、
0:30:17	一番、
0:30:18	上のところですね、タンク室の長坂とダクトの上盤がラップするような部分。
0:30:24	この辺は、
0:30:26	我々でその評価の対象外ってしている部材の内部に該当する箇所ですので、本来入れるべきでないところが誤って入ってたんで、そこで、
0:30:36	評価上厳しくなるものがあるって、それがばらつきケースとして選定されていると、いうふうなものがあったので今回、本来不要なところはすべて省いた上で、もう一度、結果を再生してその上でNGになったものを選挙ヒガン特別部署と、
0:30:51	いう形で持ってきたというところですよ。以上です。
0:30:57	規制庁ディクライズわかりました。この側壁と、中ショウガンだったり、上盤のところのラップしてる部分が、今回白抜きで対象外と。
0:31:07	ということで、前回ちょっと対象にしていたので、そのときに、
0:31:13	チャンピオンというかなるのの地震動とか、あと、
0:31:19	せん断力とか、その辺も選び直して再生利用したということでは、それで理解しました。
0:31:26	わかりました。
0:31:27	あとすいません
0:31:28	生物建物の方なんですけど、
0:31:32	先ほどの
0:31:36	回答整理表のかい。
0:31:39	イトウする際にですね今回清潔建物の
0:31:43	地震応答計算、
0:31:45	小、
0:31:45	について、この材料、
0:31:48	物性の不確かさを、
0:31:50	高齢者記述っていうのはつきましたっていうことなんですけど他の計算書もっていうお話だったんですけど、他の計算書、
0:31:57	ていうのが、具体的にどういったことなのかっていうのと、もうすでに出されてるのかどうかってそのあたりちょっと確認させてください。
0:32:08	中国電力の落合です。この衛藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:11	不確かさの事象と解析結果につきましては他の当初につきましても同様に、もっと補足説明資料につけていたものをすべて添付書類の方につける形で仮フィックス版で提出させていただいております。
0:32:26	できたものは順次出しているので、今、'中のものも出したものもありますし、今から出すものも一部ございます。以上です。
0:32:36	はい、わかりました。
0:32:39	基本的にあれですか、建物構築物でGoと計算書を当初として出してるものは、そういう扱いになるということですか。
0:32:47	中国電力の落合です。すべてそうです。同じ扱いにいたします。以上です。わかりました。ありがとうございます。
0:32:54	他、
0:32:56	よろしいですか。
0:33:00	はい。
0:33:04	特になければ、はい。
0:33:06	前半のパートについては以上としたいと思いますので、人の入れ、
0:33:12	すいません。
0:33:14	すいませんウェブで参加してる江崎さん、何かありますか。
0:33:22	特にありません。
0:33:27	はい、わかりました。
0:33:28	はい。
0:33:29	それでは前半のパートを終了いたしますので、人の入れ替えがあるということなのでここで一旦録音を停止いたします。
0:33:38	はい。規制庁チギラです。それではヒアリング再開いたします。
0:33:42	後半は仮設耐震後退について説明をお願いします。
0:33:49	はい。中国電力の高松です。それでは午前中の残案件仮設耐震構台ということですね、ちょっと裁判だけまずさせていただきます。衛藤。
0:33:59	一番からということで裁判さしていただきたいと思います。資料番号がですね、N-Sに他、336階の05ということで回答整理表こちらを一番でお願いします。
0:34:14	はい。続きましてN-S2.2014、38の会の01ということで計算書ですね、こちら2番でお願いします。
0:34:24	はい。最後ですね、N-Sに、法02710-93の簡易の03ということで、補足説明資料ですね、こちらを3番でお願いします。
0:34:36	補仮設耐震鋼材の資料は以上です。
0:34:43	はい。資料確認できましたので、説明をお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:47	中国電力の高松です。それではですねカセ耐震構台これまで補足説明資料の更新を図って参りましたが今回計算書の方もですね、最終の補足説明資料と整合する形で、
0:35:01	今回 2 番の資料を作って参りました説明自体コメント回答を 1 件ですけどこちらについては 3 番の資料でもって、ハヤタの方からご説明させていただきます。
0:35:12	はい。中国電力の早田です。それでは、資料番号 1 の回答整理表。
0:35:17	の、2 ページをお願いします。
0:35:24	回答整理表 2 ページのコメントナンバー23。
0:35:27	かつ荷重に対する受けイケダ桁受け及び支持杭の構造健全性について、耐震評価が保守的であることを説明すること、こちらについて回答させていただきます。
0:35:39	回答につきましては、資料番号 3 番、
0:35:43	通しページの 182 ページをお願いします。
0:35:57	はい。資料番号 3 の 182 ページからが、参考資料 8 の、
0:36:02	可搬型重大事故等対象設備の通行性についてということになります。
0:36:07	仮設最新構台は地震後にアクセスルートとして使用することから、可搬型重大事故等対処設備のうち、車両総重量が最も大きい移動式代替熱交換設備、
0:36:19	418kNのAII個人における主要な構造部材の健全性評価を実施いたします。
0:36:26	強軸直交方向につきましては、橋脚がより大きな荷重を分担する区間である断面を、強軸方向につきましては橋脚がこちらも大きな荷重を分担する区間であります。B断面を評価対象断面といたします。
0:36:42	184 ページをお願いいたします。
0:36:51	はい、可搬型重大事故等対象設備の通行時における健全性確認につきましては、本部における解析モデルに対して、管型重大事故等対処設備のうち車両総重量が最も大きい。
0:37:05	移動式熱代替交換設備の車両総重量を保守的に集中荷重として作用させ、主要な構造部材、
0:37:14	に発生します。曲げ軸力及びせん断力が許容限界以下であることを確認いたします。
0:37:19	図の 3 に、対象車両をお示しております。
0:37:23	185 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:29	185 ページが、3 ポツ 4 ということで荷重条件をお示しております。車両荷重は、車両の総重量である 418kNに、
0:37:40	衝撃係数を考慮した 538kNを考慮いたします。
0:37:45	AA断面の荷重条件ですが、
0:37:49	図の 4 にイメージをお示しております。上部工の重量を、奥行き 3 列の種類で負担するため、車両総重量の 3 分の 1、
0:38:00	—179kN、こちらを荷重として作用させます。
0:38:05	荷重の採用方法につきましては、映写時間の距離を考慮した連合荷重ではなく、保守的な設定として集中荷重として再開いたします。
0:38:16	荷重の作用位置につきましては、少ない部材で荷重を負担し、偏心荷重による曲げモーメントが最も大きくなるよう、
0:38:24	186 ページの図の 5 にお示しておりますように、解析モデルの端部に荷重を作用させます。
0:38:34	187 ページをお願いいたします。
0:38:39	187 ページが、BB断面の荷重条件になります。
0:38:44	BB断面は、
0:38:46	図の 6 にお示しておりますが、支持杭の奥行き方向 4 列に対しまして、繁田を七本設置していることから、重田の剛性を、
0:38:57	4 分の 7 倍した線形はり要素でもモデル化しております。
0:39:01	重田のウエキ方向の 4 分の 7 が 1.75 メートルに当たります。こちらを考慮した際に車輪笹という感覚は、
0:39:12	1.83 メートルであることから、車両総重量の片側重量である。
0:39:18	269kNを荷重として作用させます。
0:39:22	荷重の採用方法につきましては、荘司菅野距離を考慮した連合荷重ではなく保守的な設定として集中荷重として再開いたします。
0:39:32	荷重の作用位置につきましては、
0:39:35	188 ページ。
0:39:37	の方に図をお示しております。重田。
0:39:42	の曲げモーメントが最も厳しくなると考えられる繁田中央を作用位置としたケース②。
0:39:49	こちらと、189 ページの方に、
0:39:52	お示しております、下部工への荷重、
0:39:55	作用荷重が大きくなると考えられる、重田端部を作用 1 としたケース③、
0:40:02	いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:03	190 ページをお願いします。
0:40:09	190 ページに評価結果をお示しております。
0:40:13	まず断面の評価結果ですが、
0:40:17	表にお示しております通り、
0:40:19	AA断面の仮説最新構台の評価対象部位に発生する、曲げ軸力、
0:40:25	及びせん断力が、許容限界以下であることを確認しております。
0:40:30	また、表の一番右の列にお示しております、耐震計算における照査値のほうが大きくなることを確認しております。
0:40:40	194 ページを、
0:40:41	お願いします。
0:40:46	194 ページがB断面の評価結果になります。
0:40:51	曲げ軸力に対する照査値を、表の 3 で、せん断力に対する照査帳票の 4 にお示しております。
0:40:59	ここで資料の、
0:41:01	に誤りがございますので一部訂正させていただきます。
0:41:04	表 4 のせん断力に対する照査値B断面、
0:41:09	ですが、こちらの
0:41:11	線、短期許容せん断応力度、
0:41:15	すべて 120 ニュートンになっておりますが、こちら重田の材質、
0:41:22	がSM490 になりますので、こちらの
0:41:26	共選の応力度が 180 ということになります。
0:41:30	受けた以降の許容値に変更はございません。
0:41:34	それに伴いまして重田の
0:41:37	小冊子につきましては、0.06 から 0.04。
0:41:41	になります。
0:41:44	その右の列に行ってくださいましてこちらもちよっと誤りになるんですが、
0:41:49	耐震計算による照査値につきましてもこちらが 0.04 となります。
0:41:56	こちらにつきましてページが少し飛ぶんですが 116 ページ。
0:42:07	116 ページの表 6-5 の(1)。
0:42:12	せん断力に対する照査値括弧重田という部分ですが、
0:42:17	大変申し訳ありませんがこちらの表にも誤りがございまして、
0:42:22	まず発生応力度、
0:42:25	ですが、Ss-Dに、
0:42:27	つきまして 13 に対して、7 ニュートン

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:31	でS _s -F案以降、その下の、
0:42:35	地震動につきましては、60トンとなります。
0:42:39	それに伴いまして照査値がすべての地震動で0.04となります。
0:42:47	大変失礼いたしました。今後適正化させていただきます。
0:42:52	194 ページに、
0:42:54	戻っていただきまして、
0:42:58	上の文章の2段落目です。B断面の架設最新構台の
0:43:04	評価対象部位に発生する曲げ軸力、Bせん断力が許容限界以下であることを確認いたしました。
0:43:11	なお、重田以外の部材におきまして、耐震計算における照査値の方が大きくなることを確認しております。
0:43:19	201 ページをお願いします。
0:43:25	201 ページにまとめを記載しております。
0:43:28	可搬型重大事故等対処設備のうち、車両総重量が最も大きい。
0:43:34	荷重を保守的に集中荷重として作用させ、主要な構造部材に発生する曲げ軸力及びせん断力が許容限界以下で書く。
0:43:44	以下であることを確認しました。
0:43:46	以上より、可搬型重大事故等対象設備の通行時の健全性を確認いたしました。
0:43:52	以上がコメントNo. 23 の回答となります。ほう。
0:43:57	中国電力の高松です。ちょっと1点、補足だけさせていただきます。都市資料のページ番号184をちょっとお願いします。
0:44:13	はい。すでにハヤタの方からも説明させていただきました通りなんですけど、前回、こちらの車両評価かつ荷重評価についてはですね、アクセスルートを走行する車両を十分に上回る車両ということで、キャスク車、こちらを対象に180トンの荷重条件、
0:44:31	主げたを対象にご説明させていただいておりましたけどこれ、実施設計の流れでございますので、前回のヒアリングでですね、受けたとか桁受けとか、その他の主要な構造部材も、
0:44:43	ということで、秦さんからご指摘いただきましたんで、耐震評価と同様のモデルで今回車両条件もですね、アクセスルートを走行する車両のうち一番大きいこの移動式、
0:44:54	代替熱交換設備というこちらに、図の3Dを示している車両ですね、こちらを対象に一気通貫で評価を各部材についてやっていた、その結果を今回お示したというふうなものになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:08	弊社からのご説明は以上になります。
0:45:14	はい。
0:45:15	今の説明に対して確認するとある方お願いします。
0:45:29	規制庁の服部です。仮設耐震鋼材の通行性について少し確認をさせていただきたいと思います。
0:45:37	まず初めに、
0:45:39	この参考資料 8 は、結構マスキングが多いんですよね。
0:45:44	なのちょっと
0:45:47	ここだけ少し毒置き停止してアノか、もしかすると、その発言内容がここにかぶるかもしれないので、
0:45:56	そこをちょっと停止させてから値せ静止させていただきたいと思っています。
0:46:01	ここの、
0:46:02	今からちょっと確認する点というのは、
0:46:05	あくまでもその通行性に対する貨物荷重の評価ということで、この評価自体は一般設計とほぼ同じことを確認するということと、
0:46:17	あと地震時の評価ではないので、原子力施設への直接的な安全機能への影響ってのは、考えにくいということで、
0:46:28	ちょっと録音でマスキングがあるということこの 3 点を踏まえて、少し録音の方をちょっと提出させていただいてから、何点か確認をさせていただきたいと思います。
0:46:40	ですので少し録音の停止をお願いします。
0:46:44	規制庁の服部です。では今のところは、通り過ぎたので録音を再開したいと思います。録音を再開してください。
0:46:56	規制庁の服部です。
0:47:00	今
0:47:04	参考資料 8 について前半の部分のマスキングあるところについて少し確認をさせていただきました。その点についてはちょっと録音を停止させていただきましたが、
0:47:17	190 ページ以降についても少し確認点があります。これ以降についてはマスキングがないので、録音を再開して確認をさせていただきたいと思います。
0:47:27	それではとか何点か確認をさせていただきたいと思います。
0:47:32	194 ページをお願いします。
0:47:39	このBB断面のせん断力に対する照査値なんですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:44	この主げた。
0:47:46	に対してケース②でやってると思うんですね。
0:47:51	一般的に、手計算で主げたの計算をするときは、曲げに対しては、真ん中にかけた方が最も
0:48:01	曲げモーメントが大きくなる、せん断に対しては端にかけた方が最も厳しくなるっていうのが一般的な考え方なんですけど。
0:48:09	この繁田のセンターに対して、②いわゆる
0:48:13	端っこにかけたとき、
0:48:16	D評価をしているという理由は何でしょうか。
0:48:21	はい。中国電力の早田です。重田のせん断照査で、②のケースを使ってるっていうところにつきまして、
0:48:29	③の荷重作用位置っていうのが、支店分の
0:48:35	直上になりまして、重田自体にせん断が発生しない。
0:48:40	モードになります。で、
0:48:43	仮にというところで③のケースに対して、こちらの 269kN、
0:48:51	重田の自重で発生してる剪断プラス 269kNが直接かかる。
0:48:58	と仮定して、
0:49:00	上昇立入の方確認しておりますが、0.1 程度になりまして、
0:49:06	この重田のせん断が健全であるというところは確認しております。
0:49:10	規制庁の服部ですはい
0:49:15	真ん中にかけたときの人たちが 0 点っていう世界ですよ。
0:49:19	真ん中にかけたときは端っこにかけたときの半分に、当たり前ですけど、半分になりますよね。
0:49:25	一般的にこういう評価をするときは、支店の真上になればそれは 0 なんですけどせん断力、それから 10 センチでも 20 センチでも離れば、
0:49:35	その視点の反力がかかるっていうのは、これ材料力学、やってると思うんですけど、
0:49:43	ということなので本来はそっちでやるべきかなと思いますが、総合的に判断すれば、所達が小冊子ですので、問題ないとは思っています。
0:49:53	だから現実的には問題ないんですけど、何かと、ちょっと少し聞いな。
0:49:57	感じがしましたのでちょっと確認をしました。
0:50:09	はい。先ほど来ご指摘いただいたところは、おっしゃる通りでしてアノス重田千田に関しましてはそこがクリティカル点というか、Critical採用位置になるところおっしゃる通りですので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:21	追記のほうをちょっと考えたいと思います。その場所の差異化でもって、先ほどおっしゃった通りですね、照査値としては 0.1 程度で、十分構造成立性は確認しておりますので、
0:50:31	後から資料見たときに、喜納監事が残らないようにちょっと工夫したいと思います。以上です。
0:50:37	規制庁の服部ですはいわかりました。それと 195 ページお願いします。
0:50:44	これは重田の断面力の比較、断面力の比較ということなんですけど、
0:50:50	ちょっとここもキーに感じていて、
0:50:53	重田野間下司、軸力に対する照査評価の曲げモーメント図だと思うんですけど、
0:51:02	ちょっと次、表、194 ページの表 3 を見ると、主げたについては軸力 0 なので、曲げだけで決まっているというふうに思っています。
0:51:15	車両通行時の曲げモーメントが 1893 で、
0:51:20	地震時はおそらく、これは自重等、鉛直。
0:51:25	加速度による分だと思うんですが 180、138 ニュートンしかないんですよね。
0:51:31	など 2、
0:51:33	表 3 の照査値を見ると、0.25 と 0.2。
0:51:38	非常に奇異な感じがしたんですけど。
0:51:40	これは正しいのでしょうか。
0:52:07	はい。中国電力の早田です。
0:52:11	地震時につきましては 195 ページで、下が 138。
0:52:19	出てるっていう状況なんですけど地震時は軸力の方もかかってくるので、そちらとの組み合わせで、
0:52:26	113 ページの方に、
0:52:31	はい、重田の方の、
0:52:34	調査値をお示ししております通り、
0:52:39	0.2、
0:52:40	ていうところの調査地となっております。以上です。
0:52:45	規制庁のハツリですはいわかりました。196 ページに軸力があるんですね。
0:52:50	それを見る等大体 349 の半分ぐらいだから 180 ぐらいがかかっている、
0:52:58	本の M でやる等。
0:53:00	結構それに近いような値が 10 倍を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:03	ほぼ曲げモーメント分をほぼこうなんだろう、同等になるぐらいの応力状態になっているということで理解をしましたが、それでよろしいですか。
0:53:16	はい。中国電力の早田です。ご認識の通りだと思います。以上です。
0:53:22	規制庁の服部ですわかりました。
0:53:25	そうしましたら、
0:53:28	参考資料 8 については、ごめんなさい参考資料 8 じゃなくて、
0:53:34	①の資料の、
0:53:36	コメント番号 23 番については、少し適正化をしていただく箇所はありますけれども、このA、
0:53:46	コメントについては了解をしたいと思います。私からは以上ですが、すみませんついでということでもう 1ヶ所だけ確認だけさせていただきます。
0:54:00	208 ページをお願いします。
0:54:06	これ前回も聞いたかもしれないんですけども、
0:54:09	1 ポツ概要のところの下から 4 行目。
0:54:13	20 設定MPC結合というの、括弧、鉛直プラス水平方向って書いてあるんですけど、
0:54:20	これは、
0:54:21	二重接点にして、鉛直と水平を固定にして、回転だけフリーにしてるという意味で、
0:54:30	これが
0:54:32	その下に書いてある共有節点。
0:54:36	伝達すること、左側が西側へ伝達することから共有節点とする。
0:54:42	ということと、差別化を図っていて、共用設定にした場合はモーメントも出てくる。
0:54:49	というふうに理解してよろしいですか。
0:54:51	はい。中国電力の早田です。ご理解の通りです。はい。以上です。規制庁のハットリですその時に、
0:54:59	20 瀬、
0:55:01	記載の方法なんですけど、20 節点MPCケース 5 括弧鉛直及び西縁方法って書けば、
0:55:08	水平鉛直が高速で回転がフリーだということが、一般論として読み取れるんですかね。
0:55:17	ちょっと私もそこら辺の記載わからないんですけど。
0:55:21	例えば、括弧の中は鉛直及び下位水平が固定、固定で回転フリーとか何か書くともう少しわかりやすいかなと思ったんですけどその

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:33	一般的な
0:55:35	記載としてこれで読めるということであればもうこれで結構なんですけど、いかがなんでしょうか。
0:55:57	はい。中国電力、高松です。その通りでございます。
0:56:08	はい。
0:56:09	規制庁の服部です。ちょっともう1回確認させていただきます。要するに20 設定MPC結合って書いて高MPCで結合するのが、水平方向と鉛直方向。
0:56:20	で書けば、回転が不利だということは自明だというような記載。
0:56:25	ということで、一般的にこういうふうに書けばいいということによろしいでしょうか。
0:56:32	はい。中国電力の早田です。先ほどおっしゃられた通りだと思いますんで、
0:56:39	こちらの記載で鉛直方向水平方向が固定、
0:56:42	されているということがわかるかと思えます。以上です。規制庁の服部ですわかりました。私からは以上です。
0:56:54	規制庁の服部です他何か確認する点があるかとお願いします。
0:57:09	はい。規制庁の仲村ですけども、ちょっと私の方からですね、記載のところでちょっと確認させてください。資料の、
0:57:18	3 番のまず 96 ページ。
0:57:24	黄色のハッチングがされてるところなんですけども、
0:57:31	ちょっとこう読んでてですね、少し結論的に何がしたいのかなっていうのが少しわからなかったんでちょっと確認させてもらおうんですけども。
0:57:41	4 ポツ 2 ポツ 7 の基礎地盤の支持性能の許容限界を決めるっていうところで、
0:57:48	頭から見ていくと基礎地盤に発生する接地圧の強限界っていうのは、
0:57:54	2 行目の、
0:57:56	地盤の極限支持力とする。
0:58:00	その下に
0:58:02	ずっとあって、結局、
0:58:06	羅列的に書かれてるんでちょっとわかりづらかったんですけど鉛直下向き荷重についてはコンクリート標準示方書から許容付着旅行力度に基づき設定。
0:58:18	てしたってことなんですかね、で、あとそのまた以降ですけども、引き抜きについては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:26	封筒を、1.05 と 0.92 があるんだけど、小さいほうの極限周面摩擦力度っていうので 0.92 を選んだっていう、
0:58:37	その二つになってるってことですかそれとも三つ。
0:58:42	極限支持力度っていうのを選んでるのかっていうのがちょっとこの文章を読んで、
0:58:48	読み取りづらかったんですけどちょっとそこの確認をさせてください。はい。中国電力の早田です。こちらにつきましては資料 3 の 15 ページの方、
0:59:00	ご確認をお願いします。
0:59:08	まず初めの、岩盤の極限支持力度っていうところにつきましては、
0:59:14	この図の 2-5 の、
0:59:17	プレボーリング
0:59:19	具っていうふうに記載してます Φ800、
0:59:23	50 のこの、
0:59:25	面積に対して、押し込む力、
0:59:30	どう対比してどうかっていうところをまず、岩盤の極限支持力度として確認しております。
0:59:36	このコンクリートの断面積、設置面積ですね、を考慮していかどうかっていうところの確認について、この種類の構成の支持ぐいところのコンクリートの付着を見て、
0:59:49	押し抜かない付着によって、この押し抜かないということを確認して、
0:59:56	支持力に着い極限支持力度についてはこのプレボーリング面の面積を見るということを確認しております。
1:00:03	引き抜きに対しては、
1:00:06	交換とコンクリートの間の、
1:00:09	付着と、コンクリートと岩盤の摩擦を比べて、岩盤とコンクリートの摩擦の方がちっちゃいので、引き抜きについては、コンクリートと岩盤の摩擦を見て、
1:00:22	調査をしているということになります。以上です。
1:00:28	はい、規制庁中村ですけど、説明の方は理解しました。要するに、三つのことを、を許容限界で見てるっていうことっていうと、何か今、この文章を見てると二つなのか三つなのかっていうのがちょっとわかりづらかったっていうところで、
1:00:44	ちょっとこう文章については、少し読んでいただいて、検討してもらいたいっていうところと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:51	あと
1:00:54	ちょうど下に表の、
1:00:57	4-13 っていうので教育委員会みたいにこうまとめられてるんですけど、ここでいくと、結局のところはその真ん中の、
1:01:06	短期許容付着応力度っていうのは使わを、落ちてしまってるっていう、
1:01:12	ことですよね。そうすると、これなしで、
1:01:16	許容付着応力度っていうんですかね、標準示方書なんかそっちを持ってきた方が
1:01:23	何か落としたやつを数字書いてるような感じがしたんですけど、ちょっと私の認識が間違ってたらあれですけど、いかがですか。はい。中国電力の早田です。許容限界としては三つ。
1:01:35	になっております。
1:01:38	短期許容付着応力度っていうところも、先ほどの説明、
1:01:44	その通り鋼管がコンクリートを押し抜かないことを確認するために許容限界として使用して、押し抜かないことを確認しております。
1:01:55	以上です。
1:02:01	規制庁の仲村ですけどそうすると、許容限界っていうのはすいません、結局四つ見てるって感じなんですすがすいません、ちょっと理解ができてなくて申し訳ないです。
1:02:13	衛藤ミイ
1:02:16	中国電力の早田です。許容限界としては、四つになります。で、
1:02:22	ちょっとややこしいのが、コンクリートとか、
1:02:27	鋼材の付着っていうところが、セガワとキクカワ抜け側がれんで、セガワは、
1:02:33	見る必要があるんですけど一側については、岩盤とコンクリートの摩擦のほうがちっちゃいのでそちらを使うということで、
1:02:42	調査としては
1:02:45	三つを使っています。
1:02:48	なんでコンクリートと鋼材の方をセガワだけを使ってるっていう整理になります。
1:03:03	はい。中国電力の高松です。そうですね、資料③の 130 ページからがですね、実際にその許容限界に対して調査した結果を、
1:03:14	順次、お示ししております。
1:03:18	はい。130 ページからが断面の結果になりますので、まずは基礎地盤の支持性能ということで、主力評価を

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:28	6-11 でありまして、その次にですね、6-12 ということで、支持ぐいと大根固めコンクリートの一体性評価ということでここで渋井刀禰がため込んこの間を
1:03:43	短期付着応力度 1.05 で、見てるということになりますんで、最後に、引き抜きの評価のところ、こちらの許容限界 0.92 っていうところを見ていただいての通りなんですけど、
1:03:56	付着応力度と比べてより小さい、極限周面摩擦力度 0.9 にこちらを使って、引き抜きの評価をしているということで、
1:04:08	照査の内容項目としてはこのこちらの 3 項目になります。以上です。
1:04:17	規制庁の仲村です。そうするとすみませんちょっと教えてもらいたいの
1:04:21	が、
1:04:21	コンクリート標準示方書の丸校の
1:04:27	共用付着応力度に基づき設定するって書かれているのは、何かこう、
1:04:34	布施
1:04:34	て応力度を設定してるってことですか。
1:04:40	はい。中国電力の早田です。押し抜き側に対しては設定をしております。
1:04:46	以上です。
1:04:50	その許容
1:04:52	限界っていうのは、数値的には、
1:04:56	幾らっていうのがあるんですか。
1:04:59	京銀、中国電力の早田です。今日原価については 96 ページの表 4-13 の 1.05 になります。
1:05:21	そうするとあれですか、すみません規制庁のナカムラですけども、その
1:05:26	標準示方書って書かれてるやつから、
1:05:31	と短期許容。
1:05:33	むちゃ高力度っていうのを決めてるっていうことなんですかね。
1:05:38	はい。中国電力の早田です。ご理解の通りです。はい。以上です。わかりました。ちょっとそこは、何かこう、
1:05:46	繋がってるんですかね。そこちょっと日本語の文章のところですけど、ちょっと工夫していただきたいと思えますけど、いかがですか。
1:05:57	はい。中国電力の高松です 96 ページの文章のところですね、ちょっと読みにくかったところの意味はわかりました。ちょっと文章を考えたいと思えます。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:07	はい。すいませんよろしくお願ひします。あと、もうすぐ、もう1点も記載のところなんですけどもちょっとこれも確認です。
1:06:16	この資料2の方なんですけども、2の、
1:06:21	2ページですね。
1:06:28	多分これ、ちょっとマスキングの図なんですけど多分名称だけだったら、
1:06:34	読んでしまっても大丈夫ですかね。
1:06:37	ここで、第1ベントフィルタ格納槽／第1ベントフィルタ格納槽遮へいっていうのがあって、下に注記が書かれてるんですけど、
1:06:48	これはもうちょっと日本語の話ですけど、
1:06:51	まず事実確認として確認した横尾注記のところを読んできると。
1:06:57	各部へ、格納槽のうち一部の部材は、こうあって、格納槽遮へいであるっていうふうに書かれてるんでってことは何かこう、
1:07:10	共通っていうんですかね、する部材があるっていうことなのかなと思ってですねそうすると今、文章で書いてる、格納さを知らず
1:07:23	する。
1:07:24	格納槽遮へいって書いてあるなんか二つあるような感じ。
1:07:28	にとれたんですけどちょっとどっちなのかなというところでちょっとまず事実確認なんですけども、いかがですか。
1:07:42	はい。中国電力の吉本です。第1ベントフィルタ格納槽は、部材の一部が遮へい要求があって、そこを基本設計方針で、第1ベントフィルタ格納槽遮へいっていうもので、
1:07:56	設備として登録してるところがありますので、格納槽として全体があってそのうち一部が、設備も兼用してるというところになってますんで、
1:08:05	今言われたように、ここの記載だと、
1:08:08	この位置に、格納槽等遮へいが、
1:08:12	両方、
1:08:13	おるような、そういうふうに見えるので例えば片方消して中期の中だけで説明するとか、その方がわかりやすいんじゃないかというようなご指摘でしょうか。
1:08:23	規制庁仲村ですけどそうですねその方が、誤解を受けないというか、何か
1:08:30	タイトルと注記で何かこう整合性っていうところがちょっと気になったんで今確認したんですけど、もし可能であれば、
1:08:40	ですから、
1:08:42	そうですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:44	そうですか。
1:08:46	なるほど。
1:08:51	そういうことですね。
1:08:53	わかりました。
1:09:02	このままで
1:09:04	行きましようか。はい。
1:09:06	すいません。中村ですけど、以上です。
1:09:17	はい。他、
1:09:24	規制庁の伊田です。先ほどちょっと仲間の方で確認があったんで、私ももう一度確認します。資料3の130ページで131ページ先ほど、
1:09:34	ご説明があったところの内容です。
1:09:38	ここ使っている塾力っていうのはこれ岩盤上の軸力、いわゆる9イトウってなことは変なんだけど、
1:09:47	岩盤上の軸力ということで理解していいですね。
1:09:52	はい。中国電力の羽田です。こちらについては根入れしている部分で最大の軸力を使用しております。命令してる部分の最大重量ですか。
1:10:03	それはおかしいんじゃない。
1:10:05	命令していない部分の最大16じゃないんですか。
1:10:08	違いますか。
1:10:11	命令の先端の最大軸ですがそんなおかしい。
1:10:19	いや、そうじゃないと思うのは、いや、実際に地盤と杭っていうのは共有節点で、
1:10:25	されてるんでしょ、そうするとフリクションってのはもう解析の分が入っちゃいますよね。
1:10:31	パネル部分の中を持ってくると、ダブルになりますよ。
1:10:36	おそらくこれは、
1:10:38	根入れしている部分の上の軸力使ってんじゃないかと思うんですがそこでちょっと教えてください。中国電力の早田です。すいません説明がちょっと悪かったんですけど根入れしている部分の、
1:10:49	上の部分も含めて、最大のナカも一応見た上で最大のもの、それから現実問題とすれば、必ず
1:10:58	今までもそうなんだけどモデル化の中に杭入っていると地盤と共有設定にしてしまうので、そこでもうフリクションを考慮してることなるんですよ。
1:11:07	だから先端熟慮から、チェックするとおかしいんですよWダブって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:12	境界セキジョウもダブってるし、調査上もダブっちゃってるっていう形になっちゃうんですね。おそらく、
1:11:18	根入れ部分最大 16 用いられてるってことは多分、一般論で言えば、9 イトウ受力を持ってきてるようなものだと思うので、そうですねっていう確認をちょっとしたかった。
1:11:30	ということなんですが、例えば、1800、
1:11:33	14 でしたっけ。
1:11:35	そういうのが 130 ページに最大軸力として出てますよね。
1:11:40	そうするとオール応力オールずってありますよね。
1:11:46	そうすると応力図を見てくると、
1:11:51	軸力の最大値っていうのが、
1:11:55	どうだっけ。
1:11:57	100 何ページですか。
1:11:59	107 ページ。
1:12:10	107 ページで 10 グループ出てますよね。そうするとこれ多分岩盤直上ぐらいと。
1:12:16	1814 個最大軸力ですね。そっからは解析上は必ず減ってくるわけですね、フィクションが一番逃げていっちゃうんで、だから、
1:12:24	その 1814 っていうのは杭の中の最大値って意味で、実際には岩盤上の直上ぐらいのそこで数字が出てるっていう理解、そういうことでもいいですね。
1:12:36	はい。中国電力の早田です。ご理解の通りです。以上です。
1:12:42	何かどっかに詳細の軸力っていうのは、
1:12:48	こういう全体に働く軸力の中の最大値を用いてるってのはどっかに書いてある。
1:12:55	はい。中国電力の早田ですそちら記載できておりませんので記載のほうを追記したいと思います。言ってることはおわかりになられたと思うんですが解析等照射でだぶっちゃう。
1:13:07	それをやっぱり必ずきちっと考慮しなきゃいけないところですよ。
1:13:12	そうする 131 ページで求めの軸力っていうのは、
1:13:16	130 ページと同様なものを持ってきてやって、最大を持ってきてると。
1:13:21	それで、
1:13:25	根固めコンクリート等の付着性能との調査をしてやって一体性が保たれることを理解
1:13:30	チェックしてる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:31	最後引き抜きの場合は、もう付着よりも極限周辺摩擦力のほうが小さいので、
1:13:39	引っ張りそして生じてる最大軸力をすべて、
1:13:43	極限周囲、極限周面摩擦力でもって、カバーできるかどうかを調査している。
1:13:50	そういう理解でいいですね。
1:13:53	中国電力の羽田です。今おっしゃられた通りです。はい。以上です。わかりました。はい。私は以上です。
1:14:15	はい、ほか。
1:14:17	ありますか。
1:14:21	よろしいでしょうか。
1:14:27	はい。
1:14:28	確認は以上としたいと思います。中部電力からは、
1:14:37	中国電力の早田です。適正化の方で、1件、大きなところがございますのでご説明させていただければと思います。資料一番の回答整理表の3ページ。
1:14:52	こちらのNo.97ですけど、重田菅の予告及び体系皇后杯とすることの妥当性について、解析モデルのモデル化方法荷重採用方法等を追記しましたということでこちらが、
1:15:06	資料3の149ページを、
1:15:10	お願いします。
1:15:21	資料3の149ページが、参考資料4ということで、
1:15:25	重田関与の予告及び体系高を5張りとすることの妥当性確認について、こちらの資料前回
1:15:34	計算の中身どういったことをやってるかっていうところがあまり見えなかったので今回詳細に記載をさせていただきました。
1:15:42	こちらにつきまして重田菅の予告及び体系皇后はり要素とすることにあたってその妥当性確認のため、予告及び永代傾向が健全であり構造が成立することを確認いたします。150ページをお願いします。
1:15:59	重田菅の予告及び体系皇后杯他所とすることの妥当性確認は、図の3にフローを示しておりますけど、水平方向の地震力による影響が、
1:16:10	主となることから、本部における断面の地震応答解析結果よりえられる、水平最大ハウトゥ加速度を抽出し、その加速度を上回る加速度による、
1:16:22	設計震度を設定いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:25	手芸耐力及び体系高上弦材下弦材を、線形はり要素でモデル化しまして、設計震度を重田に与えることで、二次元フレーム解析を実施します。
1:16:37	二次元フレーム解析結果の予告を呼びたい傾向、上弦材下弦材に発生します応力度が許容限界以下であることを、
1:16:46	フローの左側ですねこちらで確認します。
1:16:49	また、フローの右側にありますけど、2次元フレームモデルの奥行き方向に配置される体型校舎材については、
1:16:59	二次元フレーム解析結果より、
1:17:02	発生する応力度の算出を別途実施し、発生する応力度が許容限界以下であることを確認し構造成立性を確認いたします。
1:17:10	153 ページをお願いします。
1:17:16	153 ページ以降ですけど解析モデル範囲及び二次元フレーム解析モデルを図-5 にお示しております。
1:17:25	155 ページの方に、モデルの境界条件と、荷重作用のイメージをお示しております。
1:17:33	158 ページをお願いします。
1:17:39	158 ページがフレーム解析結果ということで、先ほどのフレーム解析により、横坑及び体系高に発生した軸力をお示しております。
1:17:50	159 ページをお願いします。
1:17:55	159 ページが横坑及び体系上弦材下弦材の評価結果になります。
1:18:02	調査結果を表の 5 にお示しておりますが、部材に発生します圧縮力及び引張力が、許容限界以下であることを確認しております。
1:18:13	160 ページをお願いします。
1:18:17	160 ページからが、体系コウノ、謝罪、こちらの評価結果になります。
1:18:24	体系①における評価を、160 ページにお示しておりますが、
1:18:30	謝罪に発生する軸力については、
1:18:33	下の図に示します、AB間に発生します軸力お子さんシーターで終わることで、
1:18:40	発生応力、軸力を算出いたします。
1:18:44	そちらに対しまして、
1:18:46	圧縮応力どう。
1:18:48	それぞれ引張応力度ですねそれぞれ算出いたしまして許容限界以下であることを確認しております。
1:18:57	対傾向。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:59	謝罪の②から④ですね、こちらにつきましても同様に、
1:19:06	163 ページまでで計算を行っております。
1:19:11	結論といたしましては 164 ページ。
1:19:14	予告を呼びたい傾向に発生する圧縮力及び引張力が許容限界以下であり、構造、
1:19:20	が成立することを確認したことから、予告を呼びたい傾向を剛梁要素とする妥当性を確認しました。
1:19:28	以上が、適正化の中で、の主な説明になります。以上です。
1:19:38	はい。
1:19:38	では、今説明がありました適正化所に関して確認する点ある方、いらっしゃいますか。
1:19:45	よろしいんです。ここまで書いていて、
1:19:48	あ、はい。
1:19:50	特に、はい。
1:19:52	ありませんので、はい。
1:19:54	では確認としては以上となります。
1:19:57	特になければ、はい。
1:20:02	すいません。Web参加の江崎さん、何かありますか。
1:20:12	特にないです。
1:20:15	絶対、今までを出してコメントしたことに対しては一応回答あったと認識してます。
1:20:21	はい、ありがとうございます。
1:20:24	それでは、はい、では、確認は以上としますので、午後のメニューフェーズヒアリングについては以上となりますので、午後のヒアリング終了いたします。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。